

地区別共済制度研修会を開催しました

共済組合及び県互助会では、新年度の事業計画及び予算の概要を組合員（代議員）の皆さまに説明し、ご意見・ご要望を広くお聞きすることにより、各事業のより良い発展を図るため、職員側議員の選挙区ごとに毎年、地区別共済制度研修会を開催しております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等を考慮し、書面及び当組合のホームページを使用した方法で、2月12日から18日までの期間、開催をしました。この研修会で出されましたご意見・ご要望については、令和2年度第4回理事会（3月4日開催）で報告をし、今後の事業運営の参考とさせていただいたものです。

参加された皆さまからのご意見・ご要望について、次のとおりQ&A形式でお知らせします。

【経過的長期預託金管理経理】

(Q) 経過的長期預託金管理経理について、これまでに全国市町村職員共済組合連合会から受託した実績はあるのか。

また、今後受託する予定はあるのか。

(A) 経過的長期預託金管理経理は、これまで全国市町村職員共済組合連合会から預託を受けた資金を、主に貸付経理へ貸し付けることで、組合員への貸し付けを行う資金を用立てる目的で運用していたものですが、年金制度の一元化に伴い、貸付経理等への貸し付けは退職等年金預託金管理経理から行うこととされたものです。

現在の経過的長期預託金管理経理は、縁故地方債の引き受けを行う場合に全国市町村職員共済組合連合会より資金の預託を受け、運用する経理とされているものですが、現時点において縁故地方債の引き受けの予定はありません。

【保健経理】

(Q) 保健事業でPETドック、大腸内視鏡検査の助成を新設されるとのことですが、「人間ドック利用承認書（様式第2号）」が変更になる予定でしょうか。

また、変更になる場合、新様式はいつ頃示されることになるのでしょうか。

承認書を所属の組合員に交付するにあたって、記載内容を印字しているため、様式データをいただくことは可能でしょうか。

(A) 組合員の皆さまに対しましては、令和3年4月1日以降、共済だよりやホームページなどでお知らせをする予定ですが、4月の利用申請もあるため、各所属所の共済事務担当者様に対しましては、2月22日付けの通知文書で本件に係ります事務取扱をご案内させていただいております。

(Q) その他（補装具代）事業について、昨年も質問しましたが、対象の拡大として、「日常生活用具」代にかかる自己負担額の組合負担を可能とできないでしょうか。

(A) 限られた財源において、補装具等の範囲に日常生活用具を加えることは難しいと考えております。

【宿泊経理】

(Q) オークラ千葉ホテルの令和3年度収支が1億5,385万円もの損失を予定しているのは問題ではないですか？コロナ禍の影響を見込まずにこの損失を予測しているのであれば、損失額が結果的にはもっと膨らむ可能性があります。「施設運営検討委員会」による維持投資内容等の検討事項や改善事項を常時速やかに開示して、常に外部の目を入れることで運営側が危機感を持って対応できるようにした方がいいと思います。ご検討何卒宜しくお願い致します。

(A) 新型コロナウイルスの影響が改善されることを見込んでいることから、支出においては宿泊者・利用者が増えることにより、営業に関する経費等の増加を見込むものでありますが、収入においてはコロナ禍以前と比べ新しい生活様式に沿ったウィズコロナ・ニューノーマルなどによる婚礼・宴会の小規模化等により、施設収入の増加が見込めないため、1億5,385万円もの損失が生じてしまうものであり、改善していかなければならない課題であると捉えております。

なお、コロナの影響が引き続く場合においても、WEB会議、テイクアウト販売、少人数会食プラン等の新たなスタイルでの商品販売を行うとともに、原価の削減、人件費の適正化など支出経費の抑制を図り、損失額の改善に努めてまいります。

また、「施設運営検討委員会」での検討・改善事項等の開示につきましては、検討してまいります。

(Q) 宿泊経理内での、オークラ千葉ホテルでの「コロナ禍による新たなスタイルでの商品販売」の、具体的な案をお願いします。

(A) 現在、各部門におきまして下記の施策を用意しているものであり、今後の状況により都度商品開発を行い展開していくものです。詳細につきましては、共済だより、また、ホームページでご案内させていただく予定です。

部門名	内容
宿泊部門	テレワークプラン(客室利用8:30~18:00)
宴会・会議部門	パーティープラン(4名からの少人数会食プラン) WEB会議対応(LAN回線整備) テイクアウト付会議プラン
婚礼部門	リモート相談会 フォトウェディングプラン 少人数婚プラン
レストラン部門	テイクアウト販売(和・洋・中) フリーオーダーバイキング(都度注文を受けて提供するもの)

(Q) 宿泊経営において、令和3年度は大幅に利用者が増加すると見込んでいるが、収支予定では、収支の差のマイナスが増えているが、その要因は何か。宿泊者が増えると赤字も増えるのか。

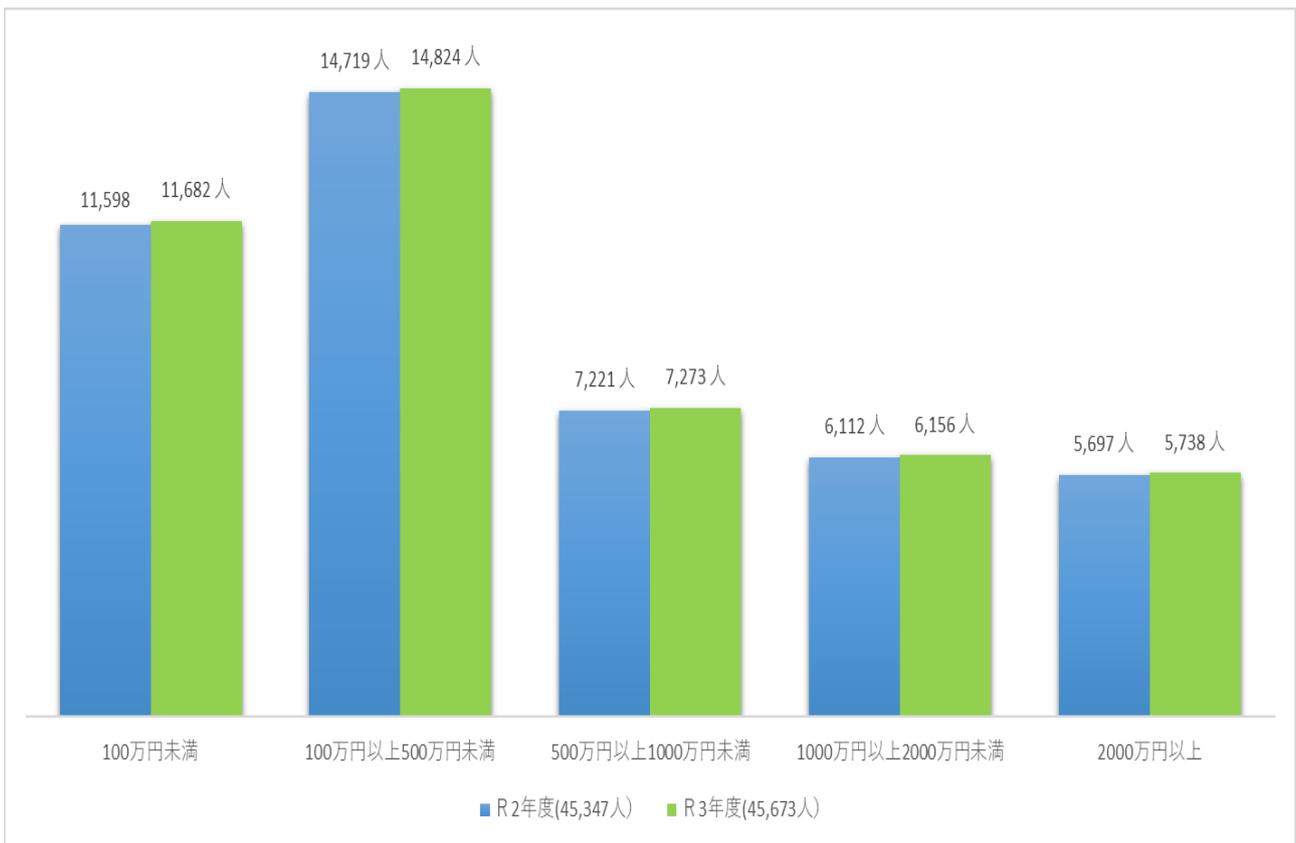
(A) 当期損失金（収支の差のマイナス）が増える要因については、新型コロナウイルスの影響が改善されることを見込んでいることから、支出においては宿泊者・利用者が増えることにより、営業に関する経費等の増加を見込むものでありますが、収入においてはコロナ禍以前と比べ新しい生活様式に沿ったウィズコロナ・ニューノーマルなどによる婚礼・宴会の小規模化等により、施設収入の増加がそれほど多く見込めないためです。

なお、多くの組合員などの皆さまにご利用いただけますよう20周年を記念したフェア・イベント、魅力あるパック・プランをご提供いたしますとともに、原価の削減、人件費の適正化など支出経費の抑制を図り、収支改善に努めてまいります。

【貯金経営】

(Q) 1人当たり貯金額が令和2年度752万2,000円、3年度776万1,000円とあるが、貯金額の分布グラフと中央値について伺いたい。

(A) 分布グラフ



中央値 令和2年度及び令和3年度 250万円程度

(Q) 3,300億円の保障、安全性についてどのような措置をとっているか教えてください。

(A) 債券の安全性については、格付け機関から債務履行の確実性が高いと判定されるA格以上の格付けを取得している債券に限って購入しているものです。

また、債券の購入後においても、その債券の発行元について金融機関や証券会社、格付け機関、各種報道機関から継続して情報を収集しているものであり、現在まで債券の購入元が破綻したことによって元本が回収不能となった事例はありません。

(Q) 有価証券の運用だけで1.9%以上の利益が取れるものなのでしょうか。

(A) 令和3年度における有価証券等の運用利回りは1.67%を見込むものです。

貯金経理においては、有価証券のほか普通預金及び定期預金を有しており、剰余金としての利息収益も併せて運用していることから、令和3年度においても引き続き1.9%での貯金支払利率が維持できる見込みとなっております。

しかしながら、債券市場は極めて低い金利状況下にあることから、今後も債券の入れ替え等に伴う利息収入の大幅な減少が見込まれますので、翌年度以降、利率の決定に向けた検討が必要となってくるものです。